

第4回 南関版コンパクトシティ構想策定委員会

議事録

-
- 日時：令和4年3月30日（水）13：30～15：20
 - 場所：南関町役場 北館 2F 大会議室 3
 - 参加者：（敬称略）
 - 【委員】末竹、北原、立山、中村、猿渡、山下、西田
 - 【委員長】西郷
 - 【事務局】大木（副町長）、坂田、橋本、大森、西山（まちづくり課）
 - 【事務局支援】ランドブレイン：山田、工藤
 - 内容：
 1. 開会
 2. 議事
 - ① 南関町地域未来構想（案）パブリックコメント後の修正案について
 - ② その他
 3. 閉会
-

（以下議事録、敬称略）

1. 開会

2. 議事

- ・（委員長）P54 まちづくりの課題に、「古民家の活用」とあるが、“古民家”という表現だと、江戸時代か明治時代の大きな梁がある民家のイメージがある。南関町にはそのようなイメージの古民家はないと思うので、「空き家や古い住宅」といった表現の方が良いのではないかと。
 - －（事務局）生活環境に関する課題の中で、空き家の活用を出しているため、「古民家の活用」の文章は削除したい。
- ・（委員）“トッパ1、トッパ2”という表現では何をするのか、イメージができない。具体的にイメージできる表現にした方が良いのではないかと。
 - －（事務局）トッパ1が魅力づくり、トッパ2が住む場所づくりという紐づけが難しいとは思いますが、わかりやすい表現として“4点トッパ”とした。
 - －（委員長）4つあるというのがわかりやすいと思う。これを変えると大きな変更になるので、これでよしとしましょう。まちづくりにはキャッチーな言葉が必要だと思う。“天神ビッグバン”という表現も具体的なものがわからないように、“4点トッパ”という表現でいいと思う。
 - －（委員）カタカナの“トッパ”を漢字の“突破”にしたら理解できるようになるのでは。トッパ丸の説明を追記してはどうか。P64のトッパ丸の位置がずれているのは意味があるのか？動きを表現した？
 - －（委員）“トッパ1、トッパ2”は“ナンバー1、ナンバー2”と同じようなものと考えればよい。しっかりと4つの項目を町民に分かりやすく説明してほしい。
- ・（委員長）パブリックコメントの意見でP85の町職員を区別せずに町民の一人として扱うべきとあるが、この点についてはどうか。
 - －（事務局）この意見は、「町職員をわざわざ黄色で色分けして表現しないといけないのか」という意味と理解している。町としてもきちんとやっていくことを表

- 現している。
- (委員長) 個人的には町としての今後のチャレンジを表現した良い表現だと思う。
 - (委員長) パブリックコメントでの意見への回答として「総合振興計画と総合管理計画に記載している文言」として伝わるだろうか。皆さん問題はないか。
 - (委員) 「抜粋しているだけなので修正しない。」と書いた方が分かりやすい。
 - (委員) 計画の後ろに何年につくった計画か分かるようにするとよいのではないか。
 - (委員) 「南関町のゲート(玄関口)」は「南関町の玄関口」で良い。
 - (事務局) 概要版もあわせて、そのように修正する。
 - (委員) 概要版の「前校区共通」は「全校区共通」に修正。
 - (事務局) 誤植なので修正する。
 - (委員長) P1の「3業務内容」の「7)」は本編のどこに該当するのか。
 - (事務局) 6)と7)はほぼ同じであるため、7)は削除する。
 - (委員長) 中学生アンケート結果については校区ではなく、地区名が表記してあるが、校区とは異なるのか。
 - (事務局) 地区は校区に対応しているので、校区で表記し直す。
 - (委員) この計画の期間はいつまでか。「小学校を中心に…」と表記されているが、将来、小学校が(統廃合で)なくなったらどうするのか。
 - (事務局) 明確な計画期間は定めていない。また、「小学校を中心に…」は「小学校区を基本に…」という表記に変更したい。
 - (委員) やはり計画期間を明確にすべきではないか。
 - (事務局) P83に記載しているように短期は今後1～3年と設定しており、中長期的事業には特に期限を設定せずに着手可能なものから順次実現するとしている。
 - (委員長) P45 ワークショップと本委員会とは直接の関係がないので、庁内検討会議と入れ替える方が良いのではないか。
 - (事務局) ワークショップでの意見は本委員会でも共有して検討を進めてきたのでこのままでよいと思う。
 - (委員長) P50 モデル地区編の意見が説明なしで記載されているので、前置きとして説明文が必要。
 - (事務局) 説明文を入れる。
 - (委員長) P55 「委員意見」という表現が唐突に出ているので、「委員意見」とは何かの説明が必要。
 - (事務局) 説明文を入れる。
 - (委員長) P65 の写真には出典を書いておくべき。
 - (事務局) 写真の出典を表記する。
 - (委員長) P80 の検討結果についてはどうか。
 - (コンサル) 旧役場跡地については、まちなか居住の推進の観点からC案の「若者定住の拠点」とし、うから館については、交流拠点としてB案の本のあるたま

- り場的な活用の方向とした。
 - (委員) 委員会ではC案にするとは決めていなかったと思う。
 - (事務局) 旧役場跡地の活用案がC案ということ。
 - (委員) 行政コストの削減のためという文言があるが、解体費用も億の単位でかかるので、使える企業があれば貸してもいいのではないか。
 - (事務局) 民間に貸すという考え方もあるが、委員会の検討経緯もあるので、具体的には、R4年度に検討することになるので今後の検討だと思う。
 - (委員長) 旧役場の建物は、耐震性はあるのか。
 - (事務局) 増築部分については耐震性があるが、それ以外の部分は耐震性がない。
 - (委員) あくまでもここで話した結果なので、決定ではないという理解でよいか。
 - (事務局) 構想なので、方向性と理解して頂きたい。
- ・(委員) 委員会での検討結果を町民のみなさんに分かりやすくできないかと思う。
 - (事務局) ホームページ上での公表やワークショップ参加者への送付などはする予定である。
 - (委員) 公表の方法ではなく内容の話である。もう少しまとめて端的に表現できないか。
 - (事務局) 概要版を見ていただくしかないと思う。一言で表現するのは難しいと思う。
 - (委員) 委員会としては、まだ一つにまとめるレベルに至っていないということ伝えるべき。
 - (委員長) 概要版のP3とP4だと思う。コンパクトシティ構想という名称であるが、それを示したのがこのページである。現在はその土壌、ベースができたということに理解して良いと思う。
 - (委員) 4つの地域でそれぞれ特色を持たせるのが南関版コンパクトシティということ。
 - (委員) 地域未来構想はワークショップもやって町民の意見も聞いてつくったという町の姿勢が見えたのがよかったと思う。これからも続けていくということでもいいのではないか。
 - (委員) 委員会としてやってきたことを、町民にどう伝えるかを言っておられると思う。これまでは委員会だけで決めていたがワークショップもやってきたということになるのではないか。
- ・(委員) 町民のみなさんには「構想が出来た。」ということを理解して頂ければいいのではないか。P80のモデル地区の検討結果は概要版に入れなくてもよいのか。
 - (事務局) うから館は令和4年度も引き続き検討していくこととしているので概要版に入れていない。
 - (委員) P80に「検討を進める」と記載されているのでその方向で進めるという理解でよいか。
 - (事務局) そういう理解でよい。
 - (委員) 町民はうから館がどうなるのかの方が興味があるのではないか。
 - (事務局) ホームページでの公表を行う。
 - (委員) ホームページももっと見やすくしてもらえるといいと思う。たまに他の行政のを見ていると分かりやすい。検索も機能をもっとよくしてくれるといい。
- ・(委員) 地域未来構想は冊子にして配るのか。
 - (事務局) 冊子はホームページへの掲載と委員、議員、各課長に配布する。
 - (委員) 概要版は広報に挟み込んでもいいのではないか。

- (委員) P80 の巡りルートについて、役場からうから館に向かうルートは主要ルートではないということか。うから館の正面玄関がこのルートにはない。街路樹の落ち葉も大変そうなのでメインルートでなければ切っさっぱりの方がよい。メインであれば記載したほうがよい。
 - (委員長) P77 のA案では、役場からうから館に向かうルートも主要ルートになっているのでこのルートも追加して良いのではないか。
 - (事務局) 役場からうから館に向かうルートを加えるようにする。

- (委員長) 前回は旧役場跡地の活用について、観光インフォメーションの案もあったが、それはどうなったのか。
 - (事務局) 委員会で「資料館をつくっても1度着て終わり。利用者が少ないのではないか」との意見もあった。

- (委員) ホームページには計画書も概要版も両方掲載するのか。両方掲載するのであれば、町民のみなさんからこうやって意見を聞いたということを掲載することはできるのか。
 - (事務局) 検討経緯等の説明文は記載する。
 - (委員長) P88 の検討経緯を記載してはどうか。検討のプロセスを出すべき。
 - (事務局) P88 の検討経緯を記載する。

- (委員長) P87 の委員名簿に加藤先生の名前も入れるべきではないか。
 - (事務局) 先生に確認をとって記載する。

- (委員長) 概要版にモデル地区の検討結果を記載するかどうかは決めておきたい。
 - (事務局) 構成を再検討してモデル地区についても記載する。

- (委員) P53 の財政状況の財政力指数0.4とはどういうことか。
 - (事務局) 自前で獲得できる予算が40%ということ。
 - (事務局) 他の市町村と比べて特に低いというわけでもない。

3. 閉会

以上